

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

令和元年度 第1回 地方創生懇談会
R1.12.3【資料1】

1. まち
「地域の活力を生み出す人口確保・定着と地域連携により時代にあったまちをつくる」
(1) 良好な住環境の整備促進 … 1事業 29,733千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
拡大	空家等対策事業	住宅課	今後の人口減少や少子化・高齢化の進展に伴う空家等の増加が懸念されるなか、空家等対策の推進に関する特別措置法や空家等対策条例、空家等対策計画に基づき、空家化の予防・実態把握、適正管理、利活用、管理不全空家等の解消等を推進する。また、空家等の既存ストックを有効活用することで、若者や子育て世帯等の移住・定住促進に向けた住環境整備の推進を目指す。	前半期には、実態把握に向け、空家等現況調査を実施するとともに、空家情報等システムの構築(仮稼働)を目指す。また、利活用の促進に向け、りっとう空き家バンクの物件掲載を促進するとともに、モデル事業の実施フレーム等を整理する。 後半期には、特定空家等ガイドラインの策定するとともに、次年度のモデル事業におけるリノベーション工事の着工準備を進める。	29,733	空家等対策計画の目標設定として、次の指標と目標値の設定を想定している。 ○空家率 8.5% (H30年住宅・土地統計調査結果公表) → 令和元年目標 現状維持 りっとう空き家バンク登録数 30件以上(R6年度までの累積) → 令和元年目標 15件登録 りっとう空き家バンク登録物件の利活用件数(成約) 10件以上(R6年度までの累積) → 令和元年目標 1件成約	空家現況調査は、自治会の協力を得ながら概ね順調に進んでおり、今後は空家情報等システムに反映作業に移行していきます。利活用促進に向けたりっとう空き家バンクは開設済みであり、登録物件の拡充を図っていきます。モデル事業に関しては、担い手強化・連携モデル事業の採択を受けたため、リノベーションモデル事業との連携を図り、事業を効果的に進めていきます。				

(2) 市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進 … 3事業 13,716千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	バス交通体系計画見直し事業	交通政策課	バス利用者の利便性向上を図り、効率的な運行を実施していくため、栗東市バス交通体系計画の見直しを進めていく。	4月に実施する「市民アンケート及びバス利用者アンケート調査結果」と既に調査済の「バスに係る地域の現状と課題」を基に、現在のバス政策に対する課題を精査し、地域の現状に即した路線・ダイヤ等、更なるバス利用者の利便性の向上及び効率的な運行が出来るようバス交通体系計画の見直しを実施する。	4,938	令和2年3月までに、地域の現状に即した路線・ダイヤ等、更に利用しやすいバス交通体系計画書を作成する。	見直しに向け、バス事業者と協議を実施すると共に栗東市バス対策地域協議会を2回開催(6月・9月)しました。				
継続	りっとうバル事業	商工観光労政課	商業活性化を目指して既存の商工振興イベント等を継続するもの。	平成25年度より実施している「りっとうバル」の更なる拡充を進めるなかで、商業活性化向上につなげる。 ・栗東バル…9月もしくは10月予定	700	・参加店舗の拡大(H30実績 56店舗) ・売上増加(H30実績 2,289千円) ・事後における参加店の顧客等の増加割合の向上(H30実績 16.0%)	第7回りっとうバルについては、10月4・5日の2日間開催される予定で、参加店52店舗、昨年度の56店舗を僅かに下回りました。				
継続	空き店舗等活用促進事業	商工観光労政課	栗東駅、手原駅周辺の賑わい創出と地域経済活性化に向けて、空き店舗等の減少及び商環境の向上を図るもの。	栗東駅前周辺地区(90.97ha)と手原・安養寺地区(28.78ha)における空き店舗等において、新たに新店しようとしている出店者(小売業、飲食業、サービス業)ならびにその店舗等の所有者に対して、改装・修繕費用と家賃の一部を補助するもの。また、空き店舗(テナント全般)を対象として、現地踏査等を行う。	8,078	空き店舗等活用補助 7件 空き店舗数 ・栗東駅前周辺地区:39件(H28実績43件の10%減) ・手原・安養寺周辺地区:27件(H28実績30件の10%減)	・空き店舗等活用補助実績新規3件、継続2件 ・空き店舗数 9月上旬に現地調査を実施し、現在集計中です。				

(3) 地域資源を活用したブランドづくりとシティプロモーションによるまちの魅力発信 … 7事業 8,462千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	栗東魅力発信塾事業	秘書広報課	市内の人たちからは、地域推奨意欲、地域参加意欲、地域感謝意欲を、また市外の人たちからは地域推奨意欲を高めていただけるような取り組みを行い、シビックプライド(郷土愛)の向上を図る。	市の地域資源の見える化と、認知度およびブランド価値向上につながるよう、フェイスブックの「りっとうミツケター」1・2期生の研修等を行い、市民による主体的なシティプロモーション活動の活性化に取り組む。	138	①フェイスブックの「りっとうミツケター」1・2期生の研修等を通じて、投稿の活性化を図る。 ②職員へ情報提供を通じて、市役所内部からのフェイスブックへの投稿の質を向上させる。	フェイスブック市民記者「りっとうミツケター」1・2期性と職員を対象に、ブラッシュアップ交流研修「見せ方を学ぶ」を7月6日に開催しました。参加者10名が写真撮影の技術等を学びました。				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

継続	広報メディアの効果的活用	秘書広報課	<p>広報紙をはじめとする情報媒体において、情報発信だけでなく行動促進となるような内容の充実を図る。</p>	<p>広報紙においては、「うますぎる栗東」を共通理念に、読者がまちの愛着をよりいっそう深めていただくことができるような情報発信を行い、ホームページにおいては、迅速で見やすくわかりやすい情報発信に取り組む。</p>	2,368	<p>広報紙において、「うますぎる栗東」の掲載などにより栗東市により愛着が湧く内容となるよう工夫する。 また、ホームページの運用について、見せ方などについて調査・研究に取り組む。</p>	<p>広報紙は、市の行政情報の掲載とともに、特集記事では市のさまざまな魅力を紹介しました。また、カラー表紙で8月号を発行し、読む人に興味をもってもらえるよう工夫をしました。ホームページでは迅速に更新し、誰もがわかりやすい内容となるよう取り組んでいます。</p>				
継続	まちの元気と魅力発信事業	秘書広報課	<p>迅速性、拡散性、視覚的効果、また双方向性など、それぞれの情報媒体が持つ特性を活用し、市民にまちの元気を体感していただくための取り組みを進める。</p>	<p>SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やメディア（テレビ放映）の活用により、市民の皆さんをはじめ、広範囲の方に市の施策やイベント、地域資源などに関する情報を発信し、市のさらなる魅力向上を図る。 また、平常時以外にも、災害時に情報伝達手段として活用することで、迅速な情報提供を行う。</p>	1,858	<p>広報テレビ番組年間4本制作、りっとうかわら版年間12回掲載。フェイスブックは原則毎日更新とし、特にフェイスブック「うますぎる栗東」においては、現在りっとうミツケーターの投稿が約29%であるが、50%を目指すとともに、さらに投稿内容に磨きをかける。</p>	<p>広報番組「うますぎる栗東」をびわ湖放送にて制作し放送しました。放送終了後は、栗東市公式ホームページとYouTubeの「りっとうチャンネル」の連携にて市内外に発信を行っています。また、ケーブルテレビで放送された市内ニュースを「栗東かわら版」として毎月まとめ、放送翌月に栗東市公式ホームページとYouTubeの「りっとうチャンネル」の連携にて市内外に発信を行っています。市公式フェイスブック「うますぎる栗東」は1日1投稿を基本に市からのお知らせやイベント案内等タイムリーな情報の提供を行っています。</p>				
継続	マスコットキャラクター活用によるシティセールス	秘書広報課	<p>地域資源であるマスコットキャラクター「くりちゃん」を活用することにより、市民のまちへの愛着を育むとともに、「くりちゃん」を通して市のPRを図る。</p>	<p>マスコットキャラクター「くりちゃん」を活用し、市民のまちへの愛着を育むとともに、観光や物産の振興などによる地域活性化に取り組む。</p>	2,522	<p>市のイベントや地域の行事等にマスコットキャラクター「くりちゃん」を積極的に活用する。</p>	<p>4～9月の「くりちゃん」着ぐるみは29回の出演をしました。学区や自治会単位の出演は下半期に出演が予定されています。</p>				
継続	広報大使就任事業	秘書広報課	<p>より多くの人が栗東市に興味ってもらえるよう、広報大使の活動や活躍を通して市のPRを図る。</p>	<p>栗東にゆかりのある著名人等に広報大使を委嘱し、活動や活躍を通して市の魅力のさらなるPRに取り組む。</p>	1,355	<p>広報大使の委嘱を行う。 広報大使の活動等を通じて、市のPRや魅力発信に取り組む。</p>	<p>広報大使「うますぎる栗東大使」として、昨年度に引き続き、5月に芸術家、スポーツ選手、8月にタレントへの委嘱を行いました。大使それぞれの活動を通して、本市のPRを引き続きお願いしていきます。</p>				
継続	総合戦略推進事業	元気創造政策課	<p>人口減少と地域経済の縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立するため、総合戦略に基づく地方創生関連事業の推進とPDCAサイクルによる進行管理を行い、総合戦略における施策の具現化を図る。</p>	<p>庁内組織である栗東市まち・ひと・しごと創生本部会議の開催（年4回）、議会全員協議会への進捗報告（年3回） 外部委員会である栗東市地方創生懇談会の開催（審議・評価）（年2回） 令和元年度で現行の総合戦略が終了することから、次期総合戦略の検討（通年）</p>	117	<p>総合戦略（地方創生関連事業）の進行管理（評価・改善） 「馬のまち栗東」に相応しい馬事業の展開</p>	<p>令和元年度当初における地方創生関連事業項目の取りまとめを行い、また、令和2年度～令和6年度までの5ヵ年を計画期間とした『第2期栗東市総合戦略』の策定に向け、栗東市まち・ひと・しごと創生本部会議を4回開催しました。 併せて、議会全員協議会で事業概要や目標などの説明を行いました。 2019年5月には、六地藏地先の旧住民憩の家跡地で民間事業者においてホースセラピーを取り入れた放課後等デイサービス事業を開始いただいています。 今後は、「馬のまち栗東」に相応しい馬事業の展開を図るため、『馬ビジョン』の策定に向け検討を進めます。</p>				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

継続	シティセールス戦略推進事業	元気創造政策課 秘書広報課	市民自らが住むまちをもっと好きになり、地域への愛着や誇りを持ち、自慢できるようにすることで、持続的なまちの発展を目指します。	本市のPRや地域資源の活用方法について、また、シティセールス戦略における第2期(発展期)の事業内容について、シティセールス戦略会議やコア会議で検討を行います。 ・シティセールス戦略会議(6月、2月) ・コア会議(随時)	104	・シティセールス戦略における第2期(発展期)の事業計画書作成。 ・シティセールス戦略会議開催2回。 ・栗東魅力資源の情報収集と活用。	関係課によるコア会議及び外部委員によるシティセールス戦略会議を開催し、第2期(発展期)の事業計画書の作成や地域資源の活用方法を検討しています。 ・シティセールス戦略会議1回(7/19、11/8予定) ・コア会議3回(7/8、9/6、10/4)					
----	---------------	------------------	--	---	-----	--	---	--	--	--	--	--

(4) 観光事業の推進 … 4事業 16,271千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	多言語観光案内事業	商工観光労政課	インバウンドの受入れ環境整備の一環として、本市来訪者への多言語観光案内を実施する。	駅構内の観光案内板の掲載情報更新に合わせ、多言語表記を行う。また、スマートフォンを活用した文字・音声等での多言語施設案内(QR)を実施し、システム利用状況や観光客の動向を把握するためのデータ収集を行う。	727	・多言語表記：栗東駅、手原駅に設置の観光案内板3枚の掲載情報更新 ・多言語施設案内：システム利用状況や観光客の動向を把握するためのデータ収集	・多言語表記：10月に栗東駅東口前の観光案内板を更新予定です。西口は今年度中、手原駅は次年度以降の予定です。 ・多言語施設案内： アクセス数 528人 閲覧数 724ページ 閲覧言語： 日本68% 英語28.2% 中国(簡)1.5% 韓国1.2% 中国(繁)1.1%				
継続	(仮称)観光振興ビジョン策定事業	商工観光労政課	本市第五次総合計画に掲げる「地域資源を活用した観光振興のまちづくり」を推進するにあたり必要な観光振興の方向性と具体的施策を示す必要があることから、経済効果を最大化するための観光の総合的な戦略となる「(仮称)栗東市観光振興ビジョン」を策定する。	基礎調査結果を基に基本構想の基本的な考え方を固め、成果指標・重点施策・実行計画(5か年)を策定する。 ・5月 委員就任依頼 ・6月 委託先決定 ・6月～1月 ビジョン策定	2,623	上位・関連計画との整合性を図り、ビジョンを策定する。	観光振興会議を外部委員で構成し、観光振興ビジョンを策定中です。 上半期3回の会議を実施しました。				
継続	栗東観光案内所の運営体制強化事業	商工観光労政課	栗東観光案内所事業と観光物産協会事業の一元化を踏まえて、体制強化と施策充実をもって観光振興の発展を図る。	事務事業の見直しにより体制の堅固化、並びに観光ボランティアと協働して施策の発展、観光振興を目指す。 ・観光案内コーナーの活用 ・土日祝日の開所(めぐりちゃんバス運休期間は午前中のみ) ・特名産品取扱い品目の拡大 ・情報発信の拡張 ・観光ボランティアとの連携	6,921	観光情報の適切な発信、観光案内所利用者の満足度向上を目指す。 ・観光案内所利用者(H30 19,517人) ・HPアクセス数(H30 52,507) ・特名産品売上げ(H30 1,508,914円) 上記項目の前年比増加を目標とする。	年間計画どおり開所、運営しています。 ・延利用者数11,645人(前年9,840人) ・特名産品売上438,550円(前年407,114円)				
統合	観光資源活用推進事業	商工観光労政課	・潜在する地域資源を発掘と魅力ある地域資源を最大に活用して観光のまちづくりへと繋げ、更なる誘客増を目指す。	栗東市観光物産協会と協働・連携して、地域の資源を新たな観光資源として利活用する。 ・りっとう市民秋まつり支援 ・めぐりちゃんバス支援 春と秋の行楽シーズンに手原駅と金勝寺間を循環するバスを1日8便運行。 旧和中散本舗ではバス運行に合わせて春の特別公開日を設定する。 乗車客のサービスの一環として「田舎の元気や」のおにぎりを斡旋する。 ・春季 4/20～6/23の土日祝日 ・秋季 9/14～11/24の土日祝日	6,000	観光施設等利用状況における利用者数(H30実績 890,054人 本市統計書より) 季節の観光バス運行は定着しつつあるが、潜在する魅力に比して利用者数の伸びに欠けるため、観光物産協会、ボランティアとも協働して、様々な需要に応えられるコースを検討して、誘客増に繋げる。 ・めぐりちゃんバス利用者(H30 707人)	りっとう市民秋まつりを昨年度に引続いて滋賀日産リーフの森に於いて市や関係団体の協賛を受けて市観光物産協会主催により11月10日(日)に開催予定です。				

(5) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進 … 7事業 144,969千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	災害時避難行動要支援者登録事業	社会福祉課	災害時の避難において支援を要する人に対して安心・安全を提供する。	要支援者登録事業の運営(通年) 制度の周知の取り組み(通年)	1,257	登録率を向上させる。 (前年度末登録率 50.2%)	「手引き」の配布等周知を実施しました。 (登録率 51.0%)				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

継続	地域生活支援事業	障がい福祉課	福祉サービスの利用援助や就労相談支援により、障がいのある人の自立を支援し、地域生活を営むことを目的とする。	障がいのある人や家族からの相談に応じて、必要な情報を提供するとともに、専門的な助言や権利擁護のための援助を行う。 ・守山・栗東障害者相談支援センター、精神障害者地域生活支援センターで通年実施。	21,041	相談内容に応じて必要な情報を提供し、サービス提供につなげることによって障がいのある人の自立を支援する。 ・年間相談件数8,559件(前年度実績)	広域事業で運営している障害者相談支援センター及び精神障害者生活支援センターによる相談支援件数は4,899件です。(R1.9.30)				
継続	特定健診・特定保健指導推進事業	保険年金課	第3期栗東市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき、国保加入者の生活習慣病の予防を行う。	協会けんぼとの健診の共同開催や40歳～74歳の国保加入者について、特定健診受診時の自己負担金を無料化する。また未受診者の傾向に応じた受診勧奨を行い、受診率の向上を目指す。 6月～11月実施予定	33,797	受診率を44.8%にする。	受診率向上のため、引き続き自己負担金の無料化、協会けんぼとの共催による健診を実施しました。今年度は未受診者の行動形態に応じた勧奨はがきを2回送付します。				
継続	健康推進アプリポイント事業	保険年金課	健康推進アプリを活用して歩く事により、楽しみながら健康づくりを行う。	健康推進アプリを活用して歩く事、健診等に参加し、ポイントを貯めて抽選で景品と交換することができ、楽しみながら健康推進を図る。	55	広報、HPでの広報、登録会などを開催し事業周知を図り、多くの人に参加してもらう。登録者数目標900人	HP等を活用し広報を実施しました。献血会場にて登録会を実施しました。景品提供依頼のため、市内事業所を訪問し、景品提供の承諾を得ました。 登録者数704人				
拡大	栗東100歳大学運営事業	長寿福祉課	100歳大学を開講し、主体的な健康づくりや介護予防、社会参加などに取り組むことにより、健康寿命の延伸を図るとともに、社会に貢献する人づくりを行う。	65歳以上の市民を対象に、第4期目の講座を開講。定員40名。受講期間5/30～翌年1/9	3,240	基礎科目講座の開催30回。年間延べ受講者数382人以上。(前年度40回で延べ510人)	上半期(4～9月) ・公開講座1回開催(受講者数63人) ・基礎科目17講座を開講(受講者数延べ347人)				
新規	地域の支えあい/集い場づくり担い手養成講座	長寿福祉課	身近な人同士が見守り、助け合いながら安心して暮らし続けられるよう、支えあいや身近なところで集う活動の担い手を養成する。また、100歳大学生や卒業生が社会に貢献する具体の活動やその立ち上げ方法を学ぶ機会とする。	65歳以上の市民を対象に、担い手養成講座を開講予定。定員20名程度。受講期間100歳大学開講後の1月中旬～3月。	370	講座の開催5回。年間延べ受講者数100人。	講座の開催日程、内容等検討中です。				
拡大	高齢者が健やかに暮らせる「すみつけたい」まちづくり事業	長寿福祉課	地域包括ケアシステムの確立を図り、高齢者が健やかに暮らせる「住み続けたい」まちづくりを進める。	中学校区毎に圏域地域包括支援センター設置し、圏域の状況に応じた人員配置の強化を行いながら介護や福祉に関する総合相談を提供する。	85,209	地域包括支援センター相談延べ件数3,805件(前年度延べ件数)以上	地域包括支援センター相談延べ件数 2,645件				

2. ひと
「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

(1) 妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援 … 4事業 153,526千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	子ども・子育て支援事業の利用者支援事業(母子保健型)	健康増進課	妊娠期から子育て期にわたる相談支援体制を構築する。	保健師、助産師等を配置し、妊娠期から子育てにわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応する。	11,485	全ての妊婦の支援台帳作成	妊婦の支援台帳を作成するとともに、保健師、助産師による妊娠届出時の面接等を通じて、妊娠期からの相談・支援を行っています。				
継続	妊婦一般健康診査委託事業	健康増進課	妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊婦と胎児の健康保持増進を図る。	妊婦一般健康診査費用の助成を行う。	79,319	費用助成を行い、妊婦の定期受診につなげる。	妊婦一般健康診査費用の助成を行い、妊婦及び胎児の健康の保持増進を図っています。				
継続	こんにちは赤ちゃん訪問事業	健康増進課	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成を図る。	生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師又は助産師が訪問し、育児についての指導を行う。	8,500	こんにちは赤ちゃん訪問希望者全員に訪問	生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師又は助産師が訪問し、育児に関する相談・指導を行っています。				
継続	地域子育て支援センター事業	子育て応援課	子育て支援の拠点として親子が気軽に集える場の提供、及び子育てに係る負担感の軽減と不安感の解消をめざして、相談業務や情報提供を行う。	「子育て講座」事業の実施 「支援センターだより」の発行	54,222	「子育て講座」36回/年開催 「支援センターだより」12回/年発行	・「子育て講座」16回開催 ・「支援センターだより」6回発行				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

(2) 仕事と子育ての両立の支援…1事業 1,376千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
拡大	潜在保育士の再就職支援事業	幼児課	保育士免許をもつ人材の掘り起こしを行い、研修会やフェアをとおし不安解消を図り就業につなげる。また、保育士の確保から就学前保育教育の充実をはかるとともに待機児童解消をめざす。	●「保育現場の現状」「安全管理」など最新保育事情講義の受講、保育園において保育体験。7月から8月に4回実施。 ●若年層の有資格者の就業につなげるためウェブを活用することで周知を行い、11月にフェアを行い具体的な就業につなげる。	1,376	保育士就労支援研修会を行い、保育士登録(確保)につなげる。また、ウェブを活用し、新たな保育士確保の方策を探る。	・保育士就職支援研修では、講義を4回、園での保育体験を3回実施しました。 ・保育人材確保のための事業委託契約は締結済みです。求人サイトは11月公開を目途に作成中です。就職フェアは11月24日に開催予定です。内容については、最終の調整を進めています。				

(3) 確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備…3事業 36,304千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	英語指導助手派遣事業	学校教育課	英語を母国語とする英語指導助手を各中学校1名ずつ計3名派遣するとともに、日本人の外国語活動指導助手9人を市内各小学校に1名ずつ配置し、小・中学校における英語教育の充実を図る。	英語を母国語とする英語指導助手を市内全小学校に派遣する回数を引き続き確保する。令和2年(2020年)度の小学校5・6年生における外国語活動の教科化と、小学校3・4年生への外国語活動の導入に先駆け、外国語活動指導助手の派遣時数を確保するとともに、中学校の英語科担任、小学校の学級担任や英語専科教員と連携し、一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。	18,557	・中学校…週4時間の英語科授業のうち、英語科教員と英語指導助手による授業を週1時間以上確保する。 ・小学校…日本人の外国語活動指導助手の派遣時間数を週2日12時間とし、小学校教員との複数授業を確保する。外国人の英語指導助手を全小学校に1校あたり年間5～7回派遣する。	・中学校…週4時間の英語科授業のうち、英語指導助手が参加する授業を週1時間以上確保しています。 ・小学校…日本人の外国語指導助手を市内9校すべてに1名ずつ週12時間派遣し、学級担任もしくは英語専科教員との複数授業を実施しました。 また、外国人の英語指導助手の小学校派遣は9月末現在で1校あたり2～3回実施済みです。				
継続	小中学校普通教室プロジェクター設置事業	学校教育課	ICT整備指標の第1ステップ(すべての普通教室に大型提示装置と操作用端末整備)の100%達成を進める。	昨年度、市内12小中学校に配備したプロジェクター224台、タブレット型PC237台によって、配備率は85%となった。本年度はプロジェクター及びタブレット型PCそれぞれ約50台の追加配備によって、全普通教室配備を実現する。	17,207	①タブレットPCの普通教室配備率 ②大型提示装置の普通教室配備率	プロジェクター50台及びタブレット型PC50台の追加配備により市内12校全普通教室配備が完遂しました。これによって文部科学省が示す学校ICT環境整備の第1ステップを達成できました。				
継続	食育推進事業	農林課	学童等子ども達に本市農業の学習機会を提供することにより食の大切さを学ぶ。また、子ども達並びに保護者に食育を行い、本市農業の大切さを学ぶ。	・たんぼのこ体験事業を通じ、食育を行なう。学校給食に食材を提供している農家が、小学生の社会見学を受け入れる。(令和元年5月～翌年2月) ・学校給食に食材を提供している農家が各小学校を訪問し給食を子ども達と一緒に食し農業について説明をする。(令和元年11～12月)	540	前年度に引き続き、市内全小学校(9校)での事業実施	市内全小学校(9校)で農業体験を実施しました。今後、農業者と子どもたちとで給食を食す予定です。				

(4) すべての子どもの育ちを切れ目なく支える支援の実施…5事業 54,288千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	幼少期から青年期につながる発達支援構築事業	子ども発達支援課	福祉と教育を担う関係課の機能的な融合により、栗東市の総合的な子育て支援で「子育てに安心」を提供する。	発達支援アドバイザーが教職員へのコンサルテーションを行い、児童・生徒支援の充実を図る。また、学童保育所に巡回し対処方法や指導の手立てを支援する。	2,882	各小・中学校でのアセスメント、コンサルテーション等の支援90回、学童保育所巡回20回、個別の教育支援計画の認証120件、啓発研修講師5件。	各小・中学校でのアセスメント、コンサルテーション等の支援43回、学童保育所巡回14回、個別の教育支援計画の認証28件、啓発研修講師14件。				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

継続	学校サポート支援員事業	学校教育課	各小中学校における各種課題に対する支援を行うため、計30名の支援員を各校に分配配置する。 また、スクールソーシャルワーカー1名を市単独雇用し、中学校を中心に「教育」と「福祉」を繋ぐとともに、不登校や「子どもの貧困」をはじめとした諸問題に取り組む。	小1対応、不登校支援、特別支援学級対応等の各種課題に対し、各小中学校の実情に応じて総合的な支援を行う。 また、スクールソーシャルワーカーと教職員の協働により、支援のあり方を模索するとともに、諸問題に積極的に関わっていく。	23,385	福祉的要因（家庭環境）で登校できない生徒と家庭に対してスクールソーシャルワーカーが積極的に働きかけることにより、「福祉的要因による長期欠席率※」を軽減させる。 令和元年度目標値 18.0% (H30年度実績値 19.2%：文部科学省生徒指導上の諸課題に係る調査報告による。) ※家庭要因による長期欠席者数（人）÷長期欠席者数（人）×100	学校サポート支援員が、各校の課題に応じ、少人数指導や複数指導の補助、不適応児童生徒の対応を行っています。 また、スクールソーシャルワーカーが個別ケースに関わり、「教育」「福祉」「医療」などと連携し、不登校解消に向けて取り組んでいます。				
継続	特別支援教育推進事業	学校教育課	特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行う。	ADHD、LD、高機能自閉症等、生活や学習など学校生活で特別な支援を要する児童生徒を支援することにより、当該児童生徒、保護者また周りの児童生徒の安定と学習を保障する。	11,278	・特別支援教育支援員（16人）による、いっそうきめ細かな支援を行う。 ・特別支援巡回相談員が、各小中学校、通級指導教室（小学校4校、中学校1校）を年間90回訪問し、指導助言を行う。	・特別支援教育支援員により、個々の児童生徒に合った支援を行うことができました。 ・特別支援教育巡回相談員が各小中学校において、特別な支援を要する児童生徒への指導や支援について助言しています。9月末現在、60回訪問済みです。				
継続	生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	経済的困窮の解消だけでなく、社会参加や就労に向けた支援などにより、社会的孤立の解消などを図る。	自立のための相談業務を中心とした支援を実施する。（通年）	14,131	生活困窮をはじめとする課題を抱えた方の相談を受け、課題解決と自立に向けた支援を行う。 前年度以上の相談件数を目標とする。 (H30新規相談受付数 98件)	生活困窮をはじめとする課題を抱えた方の相談支援を行い、月例調整会議を開催しました。 (新規相談件数 62件)				
継続	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	未来を担う子どもたち（青少年）を学校・地域・家庭が連携して、心豊かでたくましい子どもに育てていく。	市内各小学校において放課後に空き教室や体育館・コミセンを活用して、地域住民等のボランティア参画により、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流など多彩な活動機会を提供する。 ・5月～3月の平日（週1回程度）に放課後～17時まで実施予定	2,612	市内8小学校の放課後に、5月～3月の平日（週1回程度）に実施し、昨年度以上の参加を得られるようスタッフの確保も行う。 (平成30年度実績) 金 勝:子ども20人,スタッフ14人 治 田:子ども40人,スタッフ10人 治田西:子ども41人,スタッフ14人 治田東:子ども18人,スタッフ13人 大 宝:子ども47人,スタッフ11人 大宝東:子ども50人,スタッフ16人 大宝西:子ども42人,スタッフ17人 葉山東:子ども45人,スタッフ15人 計:子ども303人,スタッフ110人	金 勝:子ども30人,スタッフ12人 4回開催 治 田:子ども45人,スタッフ11人 7回開催 治田西:子ども33人,スタッフ13人 15回開催 治田東:子ども22人,スタッフ12人 11回開催 大 宝:子ども48人,スタッフ11人 7回開催 大宝東:子ども48人,スタッフ15人 12回開催 大宝西:子ども30人,スタッフ13人 8回開催 葉山東:子ども49人,スタッフ15人 12回開催 計:子ども305人,スタッフ102人				

(5) 出産・子育てにかかる経済的負担軽減のための支援…1事業 170,898千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定【PLAN/DO】	予算額(千)	成果(到達・数値目標)【CHECK項目の設定】	9月末時点進捗状況	実績【CHECK】	評価・改善【ACT】	翌年度区分	備考
継続	乳幼児福祉医療費助成事業	保険年金課	子育て世代の経済的負担の軽減を図り、子どもを安心して産み育てられる環境を作る。	0歳～就学前の乳幼児の医療費の自己負担を助成する。	170,898	円滑に福祉医療費受給券の申請、利用が行われるよう広報、HPでの周知、および申請の際個別にしおりを配布する。	制度周知のため、HPへの掲載、出生届出時、転入時に申請案内を行いました。また福祉医療費助成申請時にしおりを配布し、制度説明を行いました。				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

3. しごと

「立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる」

(1) 就労を希望するすべてのひとへの機会の提供と良好な就労環境の創出…1事業 6,567千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	就労支援対策事業	商工観光労政課	働く意欲がありながら、就労を妨げる様々な要因を抱える就職困難者等に対し、就労支援を行います。	就労支援相談員の1名増員により、就職困難者への支援相談体制の強化を図る。 ・就労相談…随時実施 ・個別:ケース会議…随時実施 ・就労相談連絡会議…毎月1回 ・湖南就労支援連絡会議…毎月1回 ・栗東市就労支援事業推進会議…年2回 ・湖南就労支援事業推進会議…年2回 ・技能取得教育訓練補助事業	6,567	相談実人数に対する就職人数割合 50% (H30実績) 相談実人数 60人 うち就職人数 20人	(R1.9月末実績) 相談実人数 46人(内、見守り11人、相談のみ12人、就労不可・転出3人の計26人含む) 就職人数 8人 就労率 40%(8人/20人) 技能取得教育訓練補助受講決定者 1名 (現在、取得に向け訓練中です。)				

(2) 中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化による競争力の向上…8事業 12,742千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	創業支援融資利子補給制度	商工観光労政課	創業希望者の創業活動を支援するもの。	日本政策金融公庫の創業関連融資に係る利子補給を一定期間実施する。	1,567	新規融資対象者のうち本制度申請者の割合の向上 (H30実績) 融資対象者(新規)数 21件 うち本制度への申請者数 11件 申請割合 52.4%	令和元年度の支援制度案内パンフレットを6月に作成し、商工会会員事業所及び関係金融機関等に配布を行いました。 補給金交付申請については、1月に受付を行います。				
継続	りっとう創業塾実施事業	商工観光労政課	創業に必要な知識(経営、経理、販路開拓、人材育成)の習得機会を提供し、創業を支援する。	経営、経理、販路開拓、人材育成にかかる知識習得機会を塾形式で提供する。 ・10月、11月実施予定	2,000	創業塾受講者のうち創業9件	栗東市商工会主催で、今年度は5回目の開催で、ビジネス座談会を新設しました。 【ビジネス座談会】 毎月(6月～3月)第3火曜日に開催 18:00～20:00 定員は各回5名 ・現在、8月が5名、9月は7名の参加実績です。 【本講座】 定員30名に対して25名の受講者 ・開催期間:9月13日～10月23日の間(全10回) 19:00～21:00				
継続	りっとう元気力向上相談会事業	商工観光労政課	中小企業者等が抱える様々な課題に対して、ワンストップ窓口で支援し、経営改善や売上げ向上などを目指すもの。	滋賀県よろず支援拠点の専門家派遣を要請し、定期的(毎月)な相談業務を実施する。 ・4月から実施(月1回、定員2名)	61	相談会1回/月×2枠×12ヶ月=24回の開催	毎月、第2水曜日午前10時および午前11時の2枠、事前予約制により運用しています。 ・現在、7件の相談実績				
継続	域内調達拡大事業	商工観光労政課	市民、中小企業、大企業、公共機関等が域内での調達率を高めることで、地域経済の好循環を創出するもの。	市内企業における取引件数や業種データの整理などにより、産業の分析・調査を行い、域内での地域経済の循環に向けた調達拡大の周知・啓発等の取組みを実施する。 ・チラシの配布 ・企業訪問	1,334	・地域経済循環率の向上 101.8% (RESAS最新情報 2013年) ・市の調達率(平成28年度調査結果数値)の10%向上 (平成29年度調査結果 域内 77.8% 市内 64.4%)	平成30年度の市の調達状況について財務会計システムを活用し調査を行いました。 ・域内 80.0% ・市内 65.5%				
継続	中小企業等信用保証料助成制度	商工観光労政課	中小企業の経営基盤の強化を図るため、経営資金融資制度等の助成を行うもの。	滋賀県中小企業振興資金融資制度における緊急経済対策資金や開業資金のほか、栗東市小規模企業者小口簡易資金貸付制度も含めた信用保証料の助成を行う。	3,616	・セーフティネット(新規)2件 ・セーフティネット(借換)5件 ・緊急経済対策資金(新規)5件 ・緊急経済対策資金(借換)11件 ・開業資金7件 ・栗東市小口簡易資金20件	令和元年度の支援制度案内パンフレットを6月に作成し、商工会会員事業所及び関係金融機関等に配布を行いました。 ・現在、1件の利用実績				
継続	小規模事業者持続化補助制度	商工観光労政課	魅力ある個店づくりを通じて地域活性化を図る。	国の補助事業(小規模事業者持続化補助金)の活用を促進し、個店の魅力向上に寄与する店舗改装等を推進するため、補助対象経費における事業者負担の一部を補助する制度。	3,185	平成30年度補正予算小規模事業者持続化補助金の採択を受けた事業を実施する者への上乗せ補助交付割合の向上 (H30実績) 国補助採択数 21件 うち本制度申請数 20件 申請(交付)割合 95.2%	平成30年度補正予算小規模事業者持続化補助金の採択を受けた事業を実施した者(28件)へ年度内に交付を行います。				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

新規	事業継承支援事業	商工観光労政課	中小企業・小規模事業者が有する技術やノウハウ等の貴重な経営資源を喪失させず、経営の継続を行うことで市内経済の活性化を図るもの。	潜在的に事業承継問題を抱えている中小企業・小規模事業者の現状を把握するためのアンケート調査を行う。 気軽に参加できるセミナーや個別相談会を開催する。 それらの結果で見えた課題を整理し具体的な支援策を検討する。	52	セミナー・相談会の開催 9月・2月計2回	【アンケート調査】 7月31日～8月26日に実施 対象：市内企業・事業者 配布数：1,251件 回収数：186件(14.9%) 詳細の結果は現在集計中ですが、個別相談の希望者が10社あります。 【セミナー】 10月23日にセミナーと相談会を開催予定です。 市、商工会、よろず支援拠点、事業承継ネットワークの共催です。				
新規	中小企業応援ガイドブック作成事業	商工観光労政課	商工振興施策等の周知啓発手段の1つとして、市内中小企業者が施策を有効に活用できる環境づくりを推進する。	域内調達に向けた市内中小企業・小規模事業者の情報、また、市内中小企業者等への支援策を一冊のガイドブックに集約して掲載し、市内中小企業者等への情報提供手段として活用する。	927	・令和元年度 作成 ・令和2年度 配布	作成に向けた準備作業中であり、2,600部発行予定です。 ・市内企業紹介項目に掲載する掲載企業数の増加とページの校正の見直し、企業掲載マップの作成等、内容をわかりやすく工夫して作成する予定です。				

(3) 消費者ニーズを踏まえた事業展開の支援 … 1事業 2,257千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
新規	市民の消費ニーズに係るアンケート調査事業	商工観光労政課	前回実施したアンケート調査の経年変化や達成状況を把握し、地元消費増加による地域経済の好循環の実現、賑わいの創出に向けた取り組みの成果を確認する。	市民を対象に、現在の栗東市内における普段の買い物や飲食店での食事等の消費行動や消費ニーズに関するアンケート調査を行うもの。	2,257	市内購買率(物販)の(平成28年度調査結果数値)の10%向上38.5%	7月10日～7月31日に実施 対象：20歳以上の市民 配布数：2,000件 回収数：604件(30.2%) 結果：市内購買率35.7%				

(4) 農林業の振興支援による活性化の推進…2事業 6,094千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
拡大	学校給食栗東産米供給事業	農林課	学校給食共同調理場への本市産環境こだわり米の供給体制を整備することにより、環境農業施策の推進と子ども達が食する米飯をより安全・安心な米穀として提供する。	本市産環境こだわり米を学校給食に調達・供給する。	3,934	学校給食共同調理場で調達する栗東市産環境こだわり米の調達・供給(令和元年度、こだわり米100tを調達・供給)	上期4～10月(平成30年産米分)50tの栗東市産環境こだわり米の供給を完了する見込みです。後期で令和元年産米の供給を見込んでいます。				
継続	間伐材利用促進事業	農林課	地域木材の活用により市内の森林を市民に身近に感じていただける。 栗東産木材を地域資源として位置づけることで認知度が上がり利用が拡大することで地域が活性化する。	市内の印刷用紙(A4)を、市内の間伐材を活用した紙を使用する。	2,160	毎年の紙使用量相当の間伐材を搬出する。今後も認知度拡大に努める。	庁舎内で使用するA4用紙を毎月100箱単位で購入し、上半期に900箱(×2,500枚/箱=2,250,000枚)を購入しました。				

令和元年度 地方創生関連事業進行管理(評価)シート

(5) まちの立地特性を活かした地域に活力をもたらす産業の創出…2事業 217,837千円、 執行見込額 千円

区分	事業名	所管課	事業目的	事業内容・予定 【PLAN/DO】	予算額 (千)	成果(到達・数値目標) 【CHECK項目の設定】	9月末時点 進捗状況	実績 【CHECK】	評価・改善 【ACT】	翌年度 区分	備考
継続	工場等誘致事業	商工観光労政課	「環境」と「新技術」による地域活力の創出、多様な業種の立地促進、既存企業の市外流出防止を図り、税収・雇用・経済波及効果等を継続して持続する。	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地促進法に基づく栗東地域基本計画による産業集積の促進 工場等誘致奨励金交付…1月交付額確定予定(㈱リチウムエナジージャパン、㈱手原産業倉庫、㈱イシダ、日清食品㈱関西工場) 生産性向上特別措置法に基づく先導設備等の導入促進 	215,837	栗東地域基本計画の成果目標(令和元年度末)達成に向けた継続した取組みの実施。 (成果目標) ・指定集積業種の企業立地件数…13件 ・指定集積業種の製造品出荷額の増加額…359億円 ・指定集積業種の新規雇用創出件数…550人 ・生産性向上特別措置法に基づく設備投資支援 ・制度導入前の新規設備投資件数を年10%向上	・工場等誘致奨励金交付事業の日清食品㈱関西工場は今年度から10年間(新設)交付予定です。引続き、㈱リチウムエナジージャパン、㈱手原産業倉庫、㈱イシダについては、現在交付に向けて手続き中です。 ・生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定件数は、変更計画も含め9月末実績で11件です。				
新規	企業の魅力情報発信事業	商工観光労政課	市内企業、特に中小企業の魅力情報を発信することで、市内企業における人材確保を支援し、市内経済の活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 魅力発信シンポジウムの開催 企業魅力発信プレゼンの開催 魅力発信冊子の発行 	2,000	・雇用対策(人材確保策)、中小企業振興、働き方改革対応。	・企業魅力発信シンポジウム・プレゼンテーション大会を令和2年2月に開催する準備を進めています。 ・企業魅力情報発信冊子作成に向けた準備作業中で、3,000部発行予定です。 市内企業の魅力情報を発信して、学生・就職支援担当者等より多くの方々に、市内企業を知っていただく内容と若者が手に取りやすい工夫して作成する予定です。				